

## 4 罪人

親父がおいらを仕込んだ夜

おいらのことなど頭をかすめもしなかった  
空想の欠片かけらも働かさなかったってことよ  
その後おいらが  
こんな息子になるなんて

5

おいらを産み落とした日

お袋は ただ嬉しくて馬鹿騒ぎ  
陣痛であんな酷い目むこに会わせた息子を  
こんな息子を産んでおきながら  
産んだってことで大喜びさ

10

お袋と親父

どこに消えちまったか  
もう 金輪際見つかかりっこ無いさ  
おいらは独り  
こんな高い舞台でブランコ往生ってわけよ

15

おいらのことなど忘れてほしいね

神様も忘れっちまった魂だ  
せめて麻衣あさぎぬでも持ってきて  
首に巻いてくれ  
それで気持ちよくお陀仏しよう

20

これで一巻の終わりってことさ

そもそも始まりなど無けりゃ良かったんだ  
親父とお袋  
おいらはご兩人に似合いの息子ってことか  
おいらに息子が恵まれなくて幸いだっただよな

25